

り災申告書記載要領

年 月 日

茨城西南広域消防本部  
消 防 署  
署 長 殿

申告者 住 所

職 業

電話 ( )

氏 名

不 動 産 り 災 申 告 書

り災年月日	年 月 日		り災物件と申告者との関係	1 所有者 2 管理者 3 占有者
り災場所	①			
建築又は購入記録・推定記憶・不明	建築等年月	総金額	3.3 m <sup>2</sup> (坪) 当り	
	年 月	円	円	
取得後の経過	増築等年月	概 要	要した金額	
	増築	年 月	円	
	修繕改築	年 月	円	
り災前の建物概要	建物の用途	屋根	外 壁	階 数
				延べ面積 (m <sup>2</sup> )
	居住世帯数	世帯	居住人員	人
建物・収容物以外のり災状況	り災物件名	り災の別	数量・面積・購入額等 (円)	経過年数
		焼・他		年
火災保険の契約	契約会社名	契約年月	保険金額 (万円)	

- 備考 1 この申告書は、消防法第34条に基づき提出を求めるものです。り災した日から起算して7日以内に提出して下さい。
- 2 この申告書は、建物1棟について1枚使用して下さい。
- 3 建物・収容物以外のり災状況欄のり災物件は、塀の類、庭木、看板等のり災した物を記入して下さい。また、り災の別欄で、「焼」は燃えたもの・熱で侵されたものなど、「他」は煙で汚れたもの・運び出すとき壊れたものなどを区分し、○で囲んでください。

①の欄

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

②の欄

- 1 建築、購入年月に金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の価格(土地代を除く)を除いた3.3㎡当り又は1坪当りの金額と総金額を円単位で記入してください。

③の欄

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから規模の大きな建物の修繕、改築又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どこの部分を、どのくらい(㎡)、修繕、改築、増築し、いくら(金額)かかったかを記入してください。  
例)改築平成17年4月1階事務所部分 30㎡ 9,876,543円  
例)増築平成18年2月2階住宅 20㎡ 1,234,567円

④の欄

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。  
例)住宅日本瓦モルタル2階建 75㎡  
例)店舗・住宅亜鉛鉄板石綿セメント板3階建 135㎡
- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

⑤の欄

建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。  
(1) 焼:火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど。  
(2) 他:煙により汚れたもの、運び出す時に壊れたものなど。  
(消火するために壊れたもの、濡れたもの、汚れたもの又は爆発により、壊れたものなどを含む。)

⑥の欄

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防(分)署までご連絡ください。

- 消防署 電話番号  
 分署 電話番号